

# 成蹊會誌

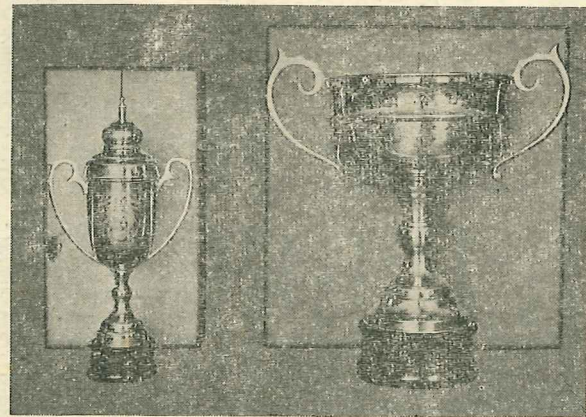
第九号



# 成蹊会近況

(会誌第八号以降)

○一月二十一日 学園に於いて枯林忌(中村春二先生御命日)  
学園講堂に於いて中学、高校の生徒に高木正孝氏(高6)のヒマラヤ・マナルス登山探検談及び寺岡洪平氏(中9)の最近歐洲事情についての講演があつた。(中村先生御命日は二月二十一日であるが、学園の都合により一カ月繰上げて挙行)加藤会長以下各役員出席  
二月二十二日 成蹊会枯林忌  
ニュートキーヨーに於いて  
来賓として、中村小波、今村繁三、南原繁の諸氏その他会員より加藤会長以下約一〇〇名出席  
当日は成蹊女学校卒業生も多数来会され、今村繁三、南原繁の両先生より中村先生についての回顧談を伺い、厳肅な裡にも盛大なる会合であつた。  
○三月二十九日 成蹊大学新卒業生歓迎会  
ニュートキーヨーに於いて  
丹羽、南部副会長以下二〇名出席、大学より野田学部長以下多数の先生出席さる。  
新卒業生六五名出席して、四月一日よりの社会人生活を前にして、学生々活最後の夕べを送りビールで乾杯、螢の光を歌つて会を閉じ、三々五々として夜の銀座に第二次会へと



優勝カップ(寄贈)

歓迎会も兼ねて開催、従つて恒例のビールパーティを改め、御婦人、御子様にも打揃つて出席出来る様な和やかな会となり、出席者一六〇名を得て盛會であつた。

築出して行つた。

○八月十二日 夏季大懇親会  
ニュートキーヨーに於いて  
成蹊女学校同窓会(やよい会)全員加入の

## 二報 告

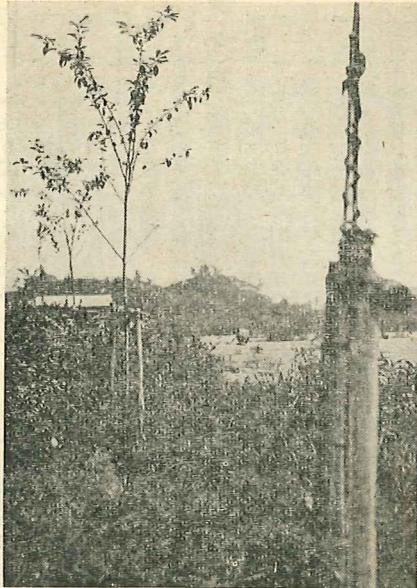
○四月二十二日 成蹊会委員会開催  
加藤会長以下各学級委員出席  
一、二十八年度決算の件(別掲参照)  
二、成蹊会基金募集の件(別掲参照)  
三、成蹊女学校同窓会(やよい会)加入の件  
四、成蹊会を組織変更する件  
以上四件全員異議なく承認す。  
○七月十二日 成蹊会委員会及び社団法人成蹊会設立発起人会開催  
加藤会長以下各委員及び設立発起人出席。  
一、社団法人成蹊会設立に関する件 承認  
二、理事、監事選任に関する件  
三、文伝正夫、谷岡喜久蔵、葦沢大義、小塩高弘、木梨信彦、栗林一二、河野義克、神義之介、津田長雄、永田龍之助、三好道矢、森新太郎  
監事として 小倉勝、篠原寿子、藤田信平を選任す。  
依つて八月六日設立申請書を文部省に提出す。

三寄 附  
一、櫻木一六〇本 成蹊学園へ  
二、優勝カップ二個 成蹊小学校へ  
○成蹊会 寄附者御芳名  
(会誌第八号掲載以降分)  
萬 直次氏 三〇、〇〇〇円  
瀬尾 守平氏 三六、〇〇〇円

## 同窓會雜感

谷岡喜久蔵

一般的には同窓会などはどうでもいゝ団体であるとして置かれている。あつても迷惑ではないし、会費の負担が一寸痛いがなくてはならない自由ではない。処が学校の存立するところ同窓会がない学校はない。唯活動の程度こそあれ大なり小なりやつているらしい。皇后陛下のおいでになる同窓会もあれば、東京千駄



一櫻 木一 (寄贈)

本支部もあつて東京でも定期的に会合が行はれていて、ケンブリッジ出身のクルーや、ラグビー世話をやいて集つていて。  
学制の改革によつて官立旧制高等学校の連中は母校が変つて、これら異分子と共に同窓会を結成すべきかどうか悩んでいる。さればいつてこのまゝにして置けば種切れでなくなつてしまふ。

官立はとにかく私立学校に於いては先頃私立学校法なる法律が出来て、同窓会団体より母校に評議員を選出しなればならない。云々い換へれば、同窓会は法的に明文化され私立学校経営に不可欠のものとなつてゐる。  
さて成蹊会は今後どうなるか。生かすも殺すも会員諸兄の熱意如何による。如何なる団体を見ても同窓会のメンバー程社会の凡ゆる分野にわたつて広範囲に有能な人物が活動している団体はない。唯残念なことには、個人的に活躍しているのであつてもこれら社会に於いて手を握り合へば偉大なる力を発揮し、世の中で不可能とされるものはないであらう。

ヶ谷の某英語会の如く完全な営利事業をやつてゐるところもある。更に法人学生を収容する受験予備校ですら、めでたく入学後集まる機会を持つてゐる。日本人特有の派閥精神の現れかと思つてもみるが、外国でも仲々盛んなようである。ハーヴァード大学には立派な同窓会組織があり、各地にクラブを持つて、宿舎食事等便宜をはかりクラブ員になることがアメリカ人の名譽とすらされてゐる。日

## 物故會員

内野 台嶺 先生 昭和二十八年十二月十四日逝去  
大沼 林右衛門 先生 昭和二十九年一月二十六日逝去  
御遺族 港区麻布三河台二一 八森方  
石川 佐久太郎 先生 昭和二十九年一月三十一日逝去  
御遺族 中野区江古田一一二六  
徳 原 弘君(高校十二回) 昭和二十九年六月二十三日逝去  
御遺族 中野区上高田一七二三  
内 藤 誠 夫君(高校八回) 昭和二十九年八月二十五日逝去  
御遺族 中野区住吉町二一 内藤 静子

## 成蹊会基金募集

一、募集金額 五百万円  
一口 一万円以上  
昭和二十九年年度より三カ年三回分割払  
御払込方法  
一、振替東京二四四五一番 成蹊会  
二、三菱銀行吉祥寺支店  
三、富士銀行吉祥寺支店  
成蹊会普通預金口座  
但(4) 一口以上応募の会員は終身会員として会費免除のお取扱を致します。  
(5) 御申込用紙は本部にごさいます。が適当に御記入下さつても結構です。